福山市

沼隈・内海

津波ハザードマップ

Fukuyama City Tsunami Hazard Map

福山市 ばらのまち福山
イメージキャラクター「ローラ」

普段から地図を見て確認しておきましょう！

裏面の地図を見て自分が普段いる場所を確認
（自宅／学校／職場など）

※災害の種類により避難先や避難経路が変わる場合があります。あらかじめ確認しておきましょう！

緊急避難場所の開設状況については、「広島県防災WEB」を確認しましょう

津波浸水想定区域内に入っている？ → はい → **避難が必要** 避難先を決め、避難経路を確認しましょう
■ 海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物
■ 地域の指定避難先　■ 親戚・知人宅など

避難先の第1候補	避難先の第2候補

→ いいえ

土砂災害警戒区域内に入っている？　または　液状化の危険がある？（液状化危険度分布図を確認） → はい

避難先の第1候補	避難先の第2候補

→ いいえ

地震の家屋被害に備え、あらかじめ避難先を決めておくと安心です

動く必要はありません　その場にとどまり、正しい情報を入手。安全に過ごしましょう

備える　日ごろから備えておくこと

災害時には、電気や水道・ガスが止まったり、道路の寸断で集落が孤立し、食べ物や生活用品が不足する可能性もあります。
いざというときに備え、家族にとって必要なものを用意しましょう。
ショッピングサイトやホームセンターでも購入することができます。

家族にとって必要なものを**最低でも3日分、できれば1週間分を備えよう！**

家を強くする
地震の揺れから身を守るため
住宅や建物の耐震性を調べ、補強や改修をする

市の木造住宅耐震改修補助事業を活用
詳しくは 木造住宅耐震化促進補助事業について

家具を固定し、家具の転倒を防止する
詳しくは 広島県「みんなで減災」はじめの一歩 日頃の心構え・日頃から行っておきましょう

道具を備える
水や電気が使えない時のために
断水時や停電に役立つ道具を備える

- □ ウォータータンク（水を運ぶ道具）
- □ 調理道具 カセットコンロ ガスボンベ など
- □ クーラーボックス
- □ ランタン
- □ 非常用バッテリー
- □ 毛布・寝袋

□ 簡易トイレ
水が使えない時に備えて、簡易トイレを準備！
5回※×人数×最低3日分
※成人の1日の平均回数

食べ物を備蓄
自宅で生活を耐え抜くため
家族が在宅避難で過ごせる飲食物を備蓄する

- □ 食料品
- □ 飲料水 1人1日3ℓ×3日分

ローリングストックで食べながら備蓄する
普段食べている食品を少し多めに購入し、食べた分を買い足して備蓄する

非常時持ち出し品を準備
自宅を離れて避難するため
避難時にすぐ持ち出せる場所に必要なものを入れ準備しておく

- □ 食料品 賞味期限が長めの飲料水や食品
- □生活用具 洗面用具／充電器、予備電池／携帯トイレ
- □ 医療・衛生用品 薬／救急セット／マスク
- □ 貴重品 現金（小銭）／印鑑
- □ 衣料品
- □ 避難用具 懐中電灯／携帯ラジオ／ヘルメット
- □ ペットや赤ちゃんの備え 必要な場合

日頃から「防災ポーチ」を常備
外出中の災害に備えて、食料品や常備薬、簡易トイレなどが学校や職場、車などにあると安心
詳しくは 広島県「みんなで減災」はじめの一歩 災害への備え

家族の連絡先

家族の名前	携帯番号	日中の居場所（学校・会社など）	居場所の連絡先	津波災害時の避難先

いざというときの連絡先

警察	火事・救急	海難事故	停電時
110	119	118	中国電力ネットワーク 福山ネットワークセンター 0120-511-605

福山市津波ハザードマップ　2026年(令和8年)8月
危機管理防災課　〒720-8501 福山市東桜町3番5号本庁舎5階
電話：084-928-1228

知る　福山市で想定される地震と津波

沿岸部では津波被害が想定されています。津波のおそれがある地域を把握しておきましょう。

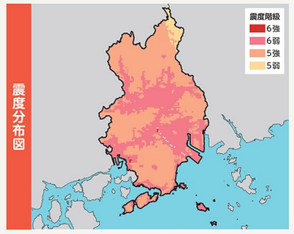
南海トラフ巨大地震
駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域とする巨大地震

マグニチュード Mw	福山市最大震度	海岸線における最高の津波水位	最大波到達時間
9.0	6強	3.4m	5時間14分後

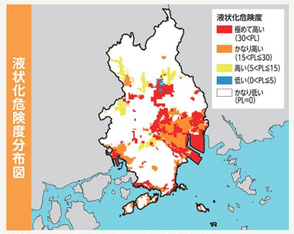
		建物被害（数）		人的被害（数）
被害想定結果	揺れ	全壊 2,474棟	死者 131人	
		半壊 14,692棟	負傷者 2,486人	
	津波	全壊 15,998棟	死者 4,393人	
		半壊 23,114棟	負傷者 658人	
	液状化	全壊 7,168棟		
		半壊 32,698棟		
	土砂災害	全壊 97棟	死者 8人	
		半壊 161棟	負傷者 10人	
	火災	焼失 158棟	死者 1人	
			負傷者 1人	
	災害関連死		死者 389～777人	

出典：広島県地震被害想定調査報告書2025年(令和7年)10月

震度分布図



液状化危険度分布図



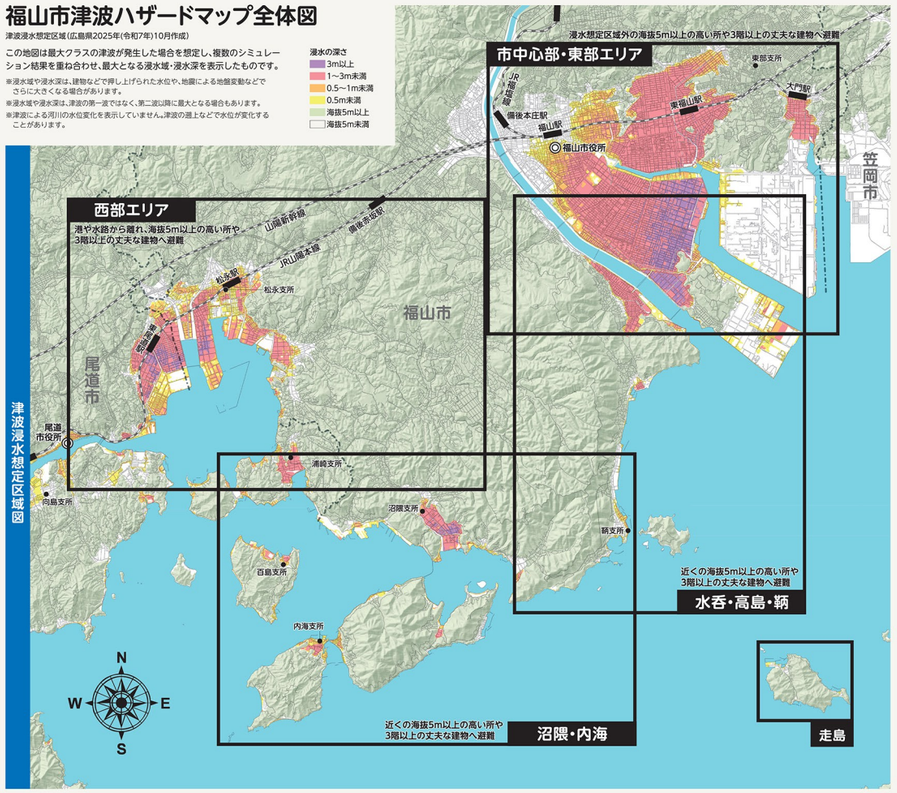
液状化とは：地震の揺れで地中にある水と砂が混ざり、液体状になり、家屋の倒壊や地中の配管の破損等の被害が起きやすくなる現象です。

福山市津波ハザードマップ全体図
津波浸水想定区域（広島県2025年(令和7年)10月作成）

この地図は最大クラスの津波が発生した場合を想定し、複数のシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域・浸水深を表示したものです。

※浸水域や浸水深は、建物などで押し上げられた水位や、地震による地盤変動などでさらに大きくなる場合があります。
※浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。
※津波による河川の水位変化を表示していません。津波の遡上などで水位が変化することがあります。

浸水の深さ：3m以上／1～3m未満／0.5～1m未満／0.5m未満／海抜5m以上／海抜5m未満



命を守る　津波タイムライン　津波から安全を確保する行動

南海トラフ地震臨時情報と避難行動
南海トラフ地震発生の可能性が通常と比べて高まった場合に気象庁から発表されます。
正しい情報を入手し、政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた避難行動をとりましょう。

※南海トラフ想定震源域で異常現象を観測

南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表

南海トラフ地震臨時情報（発表から5～30分後）	2時間程度後	2時間程度後～1週間	1週間～2週間	2週間～
南海トラフ地震臨時情報 **巨大地震警戒** プレート境界でM8.0以上の地震が発生したと評価		・日頃からの地震・津波の備えを再確認		・大規模地震が起こる可能性がなくなったわけではないので、地震の発生に注意しながら通常の生活を送る
南海トラフ地震臨時情報 **巨大地震注意** プレート境界でM7.0～M8.0未満の地震や、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価		・日頃からの地震・津波の備えを再確認	・大規模地震が起こる可能性がなくなったわけではないので、地震の発生に注意しながら通常の生活を送る	
南海トラフ地震臨時情報 **調査終了** 「巨大地震警戒」や「巨大地震注意」にあてはまらないと評価		・大規模地震が起こる可能性がなくなったわけではないので、地震の発生に注意しながら通常の生活を送る		

※南海トラフ想定震源域でやその周辺でM6.8以上の地震が発生、または南海トラフ想定震源域プレート境界面で通常とは異なるゆっくりしたすべりが発生した可能性がある場合。

地震発生

南海トラフ 巨大地震発生！ 強いゆれを感じた
マグニチュード Mw 9.0
市内では最大 震度 6強

緊急地震速報

ゆれを感じたら…
1 まず低く　2 頭を守り　3 動かない

- ● 津波浸水想定区域内
- ● 土砂災害警戒区域内
- ● 今いる場所や付近に被害

上記の場所にいる場合は危険

津波浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていない、また、津波の高さより居室が高い鉄筋・鉄骨コンクリートの建物の場合は その場で、安全を確保することも可能

地震発生から **2～3分後**

津波警報発表
警報の種類／津波の高さ

津波注意報	津波警報	大津波警報
0.2m以上、1m以下の場合	1mを超え、3m以下の場合	3mを超える場合

落ち着いて、正確で新しい情報を入手
広島地方気象台 → 福山市／報道機関等／携帯電話事業者
→ 防災行政無線 メール配信 サービス 等／テレビ ラジオ インターネット／緊急速報メール（エリアメール）
→ 住民のみなさん

津波浸水想定区域内に入っている人は
警報発表後避難行動開始

	地域特徴	避難行動
市中心部・東部エリア	比較的平坦で干拓地 戸田川に近い 広い範囲が浸水想定区域	浸水想定区域外の海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難
水呑・高島・鞆・走島	鞆の浦は歴史的な街 道が狭く、背後が急峻な山	近くの海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難
沼隈・内海	松永湾側に面した東側 半島部は標高の高い山地	近くの海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難
西部エリア	入り組んだ海 貯水場や港湾施設が密集 水路が多く津波の遡上に注意	港や水路から離れ、海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難

避難経路が地震の被害で通れない場合や、交通渋滞で移動に時間がかかる場合もあるので、**早めに避難行動を開始することが大事！**

皆が一斉に避難します。海や川には近づかず、時間に余裕を持って安全な場所へ避難しましょう！

地震後に避難する時の注意点
- ●人が大勢いる方ではあわてて出口に向かって走らず、係員の指示に従う
- ●車から離れる場合は、道路の左脇に寄せて鍵をつけたまま避難する
- ●避難時は、家屋や塀の倒壊、落下物、火災に注意。避難経路が家屋の倒壊や、土砂災害で通行できない場合もある。事前に複数の避難経路や避難先を確認し、普段からどう行動するか決めておこう！！

自宅を離れる前に
- ●ガスの元栓を閉め、電気のスイッチ、ブレーカーを切る　OFF　OFF
- ●事前に準備した非常時持ち出し袋を持って避難する　詳しくは 広島県「みんなで減災」はじめの一歩 災害への備え
- ●基本は徒歩で！周りに声をかけ、助け合いながら避難する

早い段階で、安全な場所へ避難することが大原則
津波到達までに海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難完了

地震発生から **5時間14分後**

南海トラフ巨大地震により福山市の沿岸部に想定される最大の
津波到達 3.4m
海岸線における最高津波水位

津波は、繰り返し襲ってくる

自分の思い込みで判断しないよう気をつけよう

避難先が孤立し、長期間にわたり避難を続けなくてはいけない可能性も！十分な備えが必要

津波の危険がなくなるまで警報は解除されない

できるだけ早く避難を完了しよう。

地震発生のおよそ「17分後」から福山市沿岸で津波の影響が出始めます

津波の特徴を知っておこう
- ●繰り返し襲ってくる
- ●20～30ｃｍの津波でも立っていることが出来ず、波にさらわれる
- ●津波が海から川へさかのぼり、漂流物が流入するおそれがある
- ●地震後の堤防決壊に注意　海岸線では、地震による地盤沈下や堤防の決壊によって、津波が侵入する場合もある
- ●第1波より第2波、第3波が大きくなる場合がある
- ●陸で引き潮にさらわれ、沖に流される
- ●船や流木などの漂流物を巻き込み、破壊力を増し、津波と共に襲ってくる　1ｍの高さの波に漂流物が混ざっていれば家は壊れる

瀬戸内海でおこる津波の特徴
●津波が長期間継続する
島が多く、四国と本州に挟まれた瀬戸内海では、津波が互いに重なり合い、海岸で反射して何度も押し寄せる場合がある

避難完了
- ■ 海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物
- ■ 地域の指定避難先
- ■ 親戚・知人宅など

安全な場所に避難が完了したら、避難したことを家族や知人に連絡する
外出中の家族の安全を確認
災害用伝言ダイヤル 171
災害用伝言板 web171

他のハザードマップも確認
地震時には、津波の他に土砂災害やため池の決壊にも注意が必要
市のホームページで他のハザードマップを確認できます

水害ハザードマップ（洪水・土砂災害）

正確で新しい情報を入手する
福山市ホームページ／SNS：ホームページ　LINE
ふくやま防災メール　登録用サイトから登録
防災情報をメールでお知らせします
下記メールアドレスまたは、左の二次元コードを読みこみ、空メールを送信
bousai.fukuyama-city@raiden2.speecan.jp
テレビで確認dボタン
リモコンを使い、画面で確認
①リモコンの「dボタン」を押す
②画面の防災情報を選ぶ

広島県防災WEB	広島県防災情報メール通知サービス	高潮・津波災害ポータルひろしま	土砂災害ポータルひろしま	yahoo! 防災速報アプリ

避難生活を継続　被害あり　**地域や自宅付近の被害を確認**　**津波警報解除**

避難所に行く必要がある　―避難所に行く5つの理由―
1「ガスの途絶」「断水」「トイレの使用不可」など「ライフラインの使用不可」
2「行政支援、情報・物資、人のいるところを求めて」など「情報・物資の要求」
3「高齢者・ケアが必要な家族の存在」
4「建物の安全性への不安」「避難指示等が出ておらず、周囲に誘われて」
5「余震が怖い」「環境変化への心配のある乳幼児がいない」

「阪神・淡路大震災からの生活復興2005 -生活復興調査結果報告書」京都大学防災研究所巨大地震研究センター(2006)より

避難所に行く必要がない人は
●余震や津波など災害情報に注意する
●ガラスの破片や転倒した家具の片付けを行う

自宅は落ち着くけど、電気・ガス・水道などが止まっている場合や、救助の遅れで、集落が孤立する場合も・・しっかり在宅避難の準備をしておこう